

STC-CMB2MCL/STC-CMB4MCL

接続可能な画像処理装置・画像入力ボード

FVC07CLMF

サポートする機能

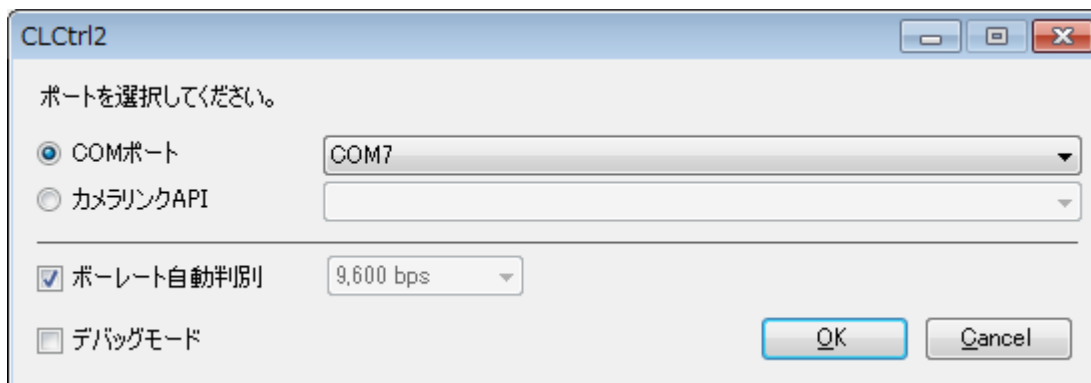
取り込みモード名称 (ファースト呼称)	対応カメラ機能名称	備 考
ノーマル（通常）入力	ノーマルモード	露光時間はカメラコントロールソフトウェアにて設定
ランダムトリガ入力	フレーム・オン・デマンド ONE トリガモード	露光時間はソフトウェア設定

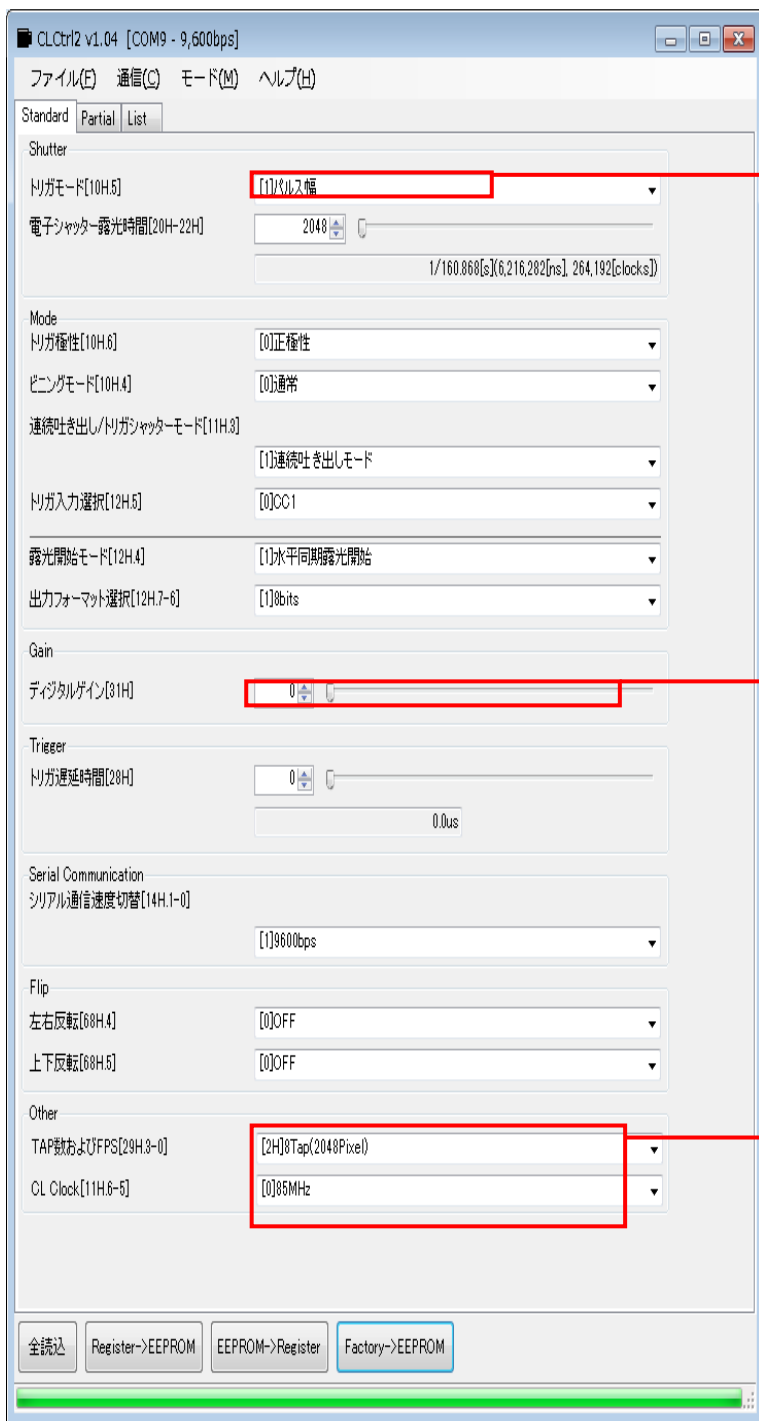
各モード共通の設定

カメラメーカーの提供するカメラコントロールソフトウェアを使用するか、弊社ライブラリ製品に用意された通信用 API 等を使用して設定を行う必要があります。

以下、メーカー提供のコントロールソフトウェア、“CLCtrl2 V1.04”を使用した場合の設定を示します。

通信ポートの設定は ボーレート自動判別とします。COM ポート番号はボードの設定に合わせてください。





トリガモード： “パルス幅” に設定します。

ゲイン： 任意の値に設定します。

使用する INI ファイルにあわせてください。

8TAP 時

TAP 数および FPS :8TAP (2048Pixel)

CL Clock 85MHz

10TAP 時

TAP 数および FPS :10TAP (2048Pixel)

CL Clock 85MHz (実際は 80MHz)

取込みモードに依存する設定

・ ノーマル入力モード

Shutter	
トリガモード[10H.6]	[1]ケルス幅
電子シャッター露光時間[20H-22H]	1088
	1/302.810[s](3,302,400[ns], 140,352[clocks])
Mode	
トリガ極性[10H.6]	[0]正極性
ピンングモード[10H.4]	[0]通常
連続吐き出し/トリガシャッターモード[11H.3]	[1]連続吐き出しモード
トリガ入力選択[12H.5]	[0]CC1

電子シャッター露光時間：
任意の値に設定します。

連続吐き出し/トリガシャッターモード：
“連続吐き出しモード” に設定します。

・ ランダムトリガ入力モード

Mode	
トリガ極性[10H.6]	[0]正極性
ピンングモード[10H.4]	[0]通常
連続吐き出し/トリガシャッターモード[11H.3]	[0]トリガシャッターモード
トリガ入力選択[12H.5]	[0]CC1

連続吐き出し/トリガシャッターモード：
“トリガシャッターモード” に設定します。

留意事項

- ・ 設定指示のない項目は、デフォルトで使用できます。
- ・ カメラによってデフォルト値は異なります。

詳細な設定方法およびカメラ仕様につきましては、センサーテクノロジー株式会社様より提供される「製品仕様書」及び「ユーザーズガイド」を参照してください。